

野瀬建築便り

夏の終わりの甘い香り

庭に出ると、どこからともなく漂ってくる甘い香り。香りのする方へ行ってみると、白いジンジャーの花が咲いています。クチナシの香りに似た穏やかな香りは、夏の終わりの夕暮れに、疲れた体を癒してくれました。

ジンジャーはショウガ科の植物ですが、食べるショウガの花ではありません。あくまで観賞用の花で、強い香りを放ちます。熱帯植物で、日本では沖縄や石垣島などで多く見られます。

ハワイの島々でも多く咲き誇り、結婚式では、ホワイトジンジャーの花をレイに入れて、甘い香りで花嫁を祝福します。ホワイトジンジャーはジンジャーリリーとも呼ばれ、この季節の観光地では甘い香りが漂います。ジンジャーの香りには気持ちを落ち着かせてくれる効果があります。夕方から夜にかけて一番強く香り、

茎を切ってお部屋に持って入ると部屋中がオリエンタルな香りに包まれます。その強い香りは香水などにも使われています。

ジンジャーの花が国花になっているキューバでは「マリポサ」と呼ばれています。マリポサはスペイン語で蝶のこと。蝶が大きく羽を広げたようなジンジャーは、キューバの女性に最も愛されている花です。日本での和名は「花縮砂（ハナシクシャ）」。同じ花ですが、日本らしくとても情緒豊かな雰囲気があります。花言葉は「豊かな心」。初秋の季語にも使われています。

気が付けば、空にはうっすらうろこ雲。楽しかった夏を思いながら、秋風にジンジャーの香りをのせて、元気に新しい季節に進みましょう。

